



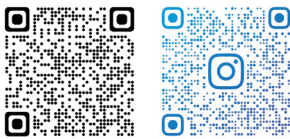
ぬくとう みさき
抽冬 美紗稀

大阪芸術短期大学/保育科
2015年卒業

3歳から小学6年生まで習った書道の勉強を短大卒業前に再開し、現在書道家として大阪府堺市を拠点に書道パフォーマンスイベントの開催や教室運営をさせていただいております。

書道教室では保育学科で学んだことをフルに発揮し、現在は幼児から大人の方まで80名を超える方が足を運んでくださるようになりました。

学校で学んだことを強みに、生徒1人ひとりと向き合いながら楽しい教室作りをおこなっております。



@MISA0126

好きこそものの上手なれ

大阪芸術短期大学では保育科を専攻しておりました。大学で印象に残る出来事は2つあり、ひとつは保育実習です。大人の社会へ進むためのステップである実習先、沢山の子ども達と触れ合う時間が多く、心と体で感じることで学べる学びがあったとともに、仕事の厳しさや責任の大きさ、大変さを知りました。その際に培った子どもへの応対力は現在の「お子様に特化した書道教室」に生きていていると感じる事も多いです。

2つ目は制作です。保育には欠かせない大切な時間ですが「先生が厳しかった」ことが印象強く、おかげさまで合格する為に一生懸命だった自身を記憶します。

卒業後、事情があり保育士の道へは進みませんでしたでしたが、この時に制作に取り組んだことは自身の強みになっています。(厳しさに感謝です)

現在、書道教室では年に数回ではありますが作品制作の時間を取り入れています。生徒である子どもたちに様々な道具に触れて頂きたいことと、知識を増やしながら制作の楽しさを感じていただきたいからです。

これも大学で教えていただいた事が繋がっていると思います。2年間の短大生活での勉強、遊びなどすべてが卒業後の人生に大きく役立っており、今では関わっていただいたすべての方に感謝しかありません。

私が教室運営にあたり子ども達と向き合う心意気として、「どんな事でもいい、小さな頃に経験した努力は必ず自分の力となり知識を広げる、自分なら出来るという自信は将来の豊かな人生に繋がる」という視点です。保育学科であるからこそ経験できたことをフル活用させていただき、想いが伝わる教室をこれからも皆さんと創っていきたくと思っています。また、書道パフォーマンス、作品制作などを通して素敵な人との出会い、何よりも好きな書を通して仕事ができることに感謝し、今後も自身らしい「書」を創り続けます。卒業して9年目、母校に感謝です。



2023年度お正月書道パフォーマンスにて



書道教室にて全国書道コンクールの作品制作



大仙公園日本庭園にて作品展示



着物と帯を使用した書作品